



2023年4月12日

上場会社名 株式会社タカキュー
代表者 代表取締役社長 大森 尚昭
(コード番号 8166:東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役管理本部長 林 宏夫
(TEL 03-5248-4100)

個別業績と前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年2月期の個別業績において、前期実績値と本日公表の実績値との間に差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 個別業績の前年実績値との差異について

2023年2月期（通期）個別実績の前年実績値との差異（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前年実績（A）	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
2022年2月期	12,139	△2,153	△1,919	△2,146	△88.09
当年実績（B）	11,975	△785	△706	△1,050	△43.11
増減額（B）－（A）	△163	+1,368	+1,213	+1,096	-
増減率（%）	△1.3	-	-	-	-

2. 差異発生理由

当年の売上高は、上半期は行動制限の緩和に伴う外出機会の高まりとともに市況が回復して客数が堅調に推移、下半期は円安対策等の影響で客数が低調に推移したものの、客単価上昇により既存店ベースで増収となりました。一方で36店舗の撤退等により全社ベースでは減収でした。

利益面は、バーゲン時期の値引き販売の抑制、円安対策等による販売価格の見直し等を実施した結果、売上総粗利率は59.9%と前年から1.7ポイント増加し、売上総利益高は1億1千6百万円の増益となりました。更に販管費は、人員の減少、店舗運営の効率化による人時削減による人件費の削減、店舗撤退及び減額交渉による賃借料削減、その他事業構造改革の影響等により、前年より12億5千2百万円の負担減となりました。

この結果、売上総利益の増加と販管費の減少により、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも前年を大幅に上回る結果となりました。

以 上